



BULLETIN



国際会長	「私たちは変えられる」	“Yes, We Can Change!”
スローガン	「挑戦への勇気」	“Courage to challenge”
アジア太平洋地域会長	「アクション！」	“Action!”
スローガン	「誇りと喜びを持って」	“With Pride and Pleasure”
東日本区理事	「為せば、成る」	“No challenge, No fruit.”

2018. 7. 1 発行 第 1 号通巻 60 号

理事主題『為せば、成る』 “No challenge, No fruit.”



副題『ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。』

“Ask not what Y's can do for you.

Ask what you can do for Y's.”

東日本区理事 宮内 友弥（東京武蔵野多摩）

理事として本年度 1 年間皆様とご一緒に東日本区の運営を担っていくこととなりますのでご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。

ワイズ運動はトップダウンでは動かない各部、各クラブの活動が主体であります。受動的にワイズに期待して待つのではなく、能動的に探しに行く、自ら求めることが肝要です。個々のクラブ、メンバーの方にその気になって頂かなければ、ワイズ運動の活性化はあり得ません。メンバーの方は、キャリアに裏打ちされたそれぞれの価値観を持っておられます。ただ唯一共通するのは、「ワイズメンズクラブの理念に共感し、より良い社会にするために尽くしたい」と思っておられる方々の集まりと云うことです。その方々の力を引出し良い働きをしていただかなければなりません。その為にどうすれば良いか？行き着いたのが、サーバントリーダーシップと云う考え方です。いわゆる牽引型のリーダーシップではなく、目標に向かって邁進する仲間を支援するリーダーシップのこと。「仲間を支えるためにリーダーは存在する」が私の志向するサーバントリーダーシップです。サーバントリーダーシップのあり方は、トップダウンの一方通行ではなく、対話型のリーダーシップであるということもできます。



- ・ 理事引継ぎ式
- ・ 区役員引継ぎ式
- ・ 新理事所信表明
- ・ 新役員紹介
- ・ 感謝ギャベル贈呈
- ・ 理事挨拶



基本方針

(1)リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織に。

メンバーを支援して、目標達成に導く、奉仕型のリーダー（サーバントリーダーシップの実践）を目指す。ビジョンを示したうえで、コミュニケーションや信頼関係の構築を重視する。

(2)キリストの愛の精神と YMCA サービスはワイズの拠り所、アイデンティティー。

自分のアイデンティティーを確認する為に必要、決して信仰を強制するものではない。

自分の自分であることの確認、自分が何に立っているのか、何を基盤にしているのか。

(3)理念と改革

上記を念頭に置いた上で、現代社会で生き残るためには過去にとらわれず、ニーズに即した斬新なアイデアを。

(4)取り組むべき課題

組織の在り方再検討

Extension

YMCA との関係強化（イコールパートナーとして）

国際・エリアへの関与（国際クラブであると言う自覚、国際クラブの一員としての責任）

外部への広報活動

東日本区定款改訂の仕上げと対応

2018～2019 年度 東日本区達成目標

担当	事業	2018～2019 年度達成目標
地域奉仕	CS	1,250 円／人以上
	ASF	500 円／人以上
	FF	500 円／人以上
国際・交流	BF	2,000 円／人以上
	TOF	1,300 円／人以上
	EF	記念献金
	RBM	800 円／人以上
	YES	500 円／人以上
	IBC	3 クラブ締結、トライアングル・2 クラブ
	DBC	2 クラブ
会員増強	新クラブ設立 (E)	3 クラブ
	会員増強 (M)	80 名
JEF（東日本区ワイズ基金）		500,000 円
LT（リーダーシップトレーニング）		次期部長・次期事業主任研修会
		次期クラブ会長・部役員研修会
		各部における部内研修 適宜
区報		2 回発行

ACTION PLAN FOR YEAR 2018-2019

RD Japan East Region Tomoya Miyauchi

My Theme: “No challenge, No fruit”

Sub Theme: ”Ask not what Y’s can do for you. Ask what you can do for Y’s.”

BASIC POLICY

1. To encourage and motivate all members to work on their own free will.
 - Supporting members and leading them to realize their goals as RD.
 - Building a relationship of mutual trust through close communication.
 - Each club and individual member should be the leading role.
2. To remind the origin of Y’s—The teaching of Jesus Christ and YMCA Service.
 - It’s necessary to confirm the identity as Y’s man(Y’s woman).
3. Innovation on the basis of above matters.
 - The foundation of Y’s dom never change even the world change with times.
 - But our activity must be always reviewed from the innovative view point to survive the present times.

CHALLENGES

1. To restudy what and how our organization should be.
2. To lay stress on Extension.
3. To strengthen the relationship between Y’s and YMCA.
4. To strengthen PR Activity.

IMMEDIATE ACTION

1. To form the Extension Committee of the Region.
2. To appoint YMCA liaison as a new regional managerial position.
3. To vitalize the Districts by DG’s leadership.

LONG RANGE PLAN

1. Restudy the possibility of our organization incorporating.
2. Restudy the possibility of the term of office extending for regional managerial position.
3. Extension towards 2022



Congratulations on the launch of the new mission of RD Miyauchi Tomoya and the publication of the first newsletter in the East Region!

Dear RD Tomoya Miyauchi and fellow members,



For the past years we have put tremendous efforts to help facilitate the growth and changes in the local communities. None can deny the fact that such endeavor has brought about the expansion and development of Y's dom. It has become our history.

I would like to recognize the commitment and hard work that has been shown by devoted and passionate leadership of East Region in Japan. It was very tough job.

We have cultivated highly valued pride of the YMI under the motto of "To acknowledge the duty that accompanies every right." and became a highly recognized international service organization during the century.

However, it is not so much pleasant if we can see the challenges we are facing. Bitter to say, our organization and activities has been declined globally. This phenomenon can be seen as a result of our actions hanging on to reality and the lukewarm response to the trends and changes of time.

Change is essential, not choice. If it does not change, the tradition disappears. In light of this, my theme has been set as, "YES, WE CAN CHANGE".

I have also decided to use the slogan "COURAGE to CHALLENGE" to achieve the purpose of the theme. This implies the implication of being a voluntary and dedicated leader with courage, challenge, and commitment to change.

I heard that RD Tomoya Miyauchi has an extraordinary love for YMI and is a warm-hearted person.

I also believe that the enthusiastic leadership of RD Tomoya Miyauchi will achieve the growth of the East Region with the new changes in Japan. The efforts of the RD and all the leaders of the region to create a better world will shine even brighter. I hope that the activities of the East Region will be new and enjoyable with more changes and renewed activities.

I'm wondering what is included in your first published regional newsletter. I think it seems to be the work of dedicated Eastern members for the community. I look forward to receiving the newsletters about your new activities and being introduced throughout the world.

I hope that this newsletter will be a medium for YMI's activities and celebrations to all its members. I would like to congratulate you once again on the occasion that your new tenure begins, and the first newsletter is published.

I wish you and the members of the East Region all the success.

Ysly and Sincerely,

Sangbong Moon

International President

宮内友弥理事の就任と東日本区報の発行を祝して

東日本区理事宮内友弥様
ならびに区の皆様

私たちはこれまで地域社会の成長と発展のために多大な努力をしてきました。これによりワイズダムが拡大、発展できたことは誰もが認めるところです。そしてそれは私たちの歴史となっています。

東日本区の皆さまの公約とその実現への献身的で熱心な働きを評価致します。それは大変な仕事であったと思います。

私たちは「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」という標語の下に、YMI (Y's Men International) の極めて価値の高い誇りを培い、この一世紀に国際的な奉仕団体として認められるに至りました。

しかしながら、私たちが直面している問題を考えると安閑とはしてられません。言い辛いことですが、私たちの組織と活動は世界的に衰えてきています。この現象は、私たちの行動が、現状にしがみつき、時代の趨勢と変化に対し反応が生ぬるかった結果と考えられます。

変化はしなければならぬもので、選択できるものではありません。変化しなければこれまで培ってきたものは消えてなくなります。このことから私は主題を“YES WE CAN CHANGE” 「私たちは変えられる」としたのです。

また、主題が目指すものを実現するために、スローガンを“COURAGE TO CHALLENGE” 「挑戦への勇気」としました。これは変化を成し遂げる勇気とチャレンジ精神をもった自発的で献身的なリーダーが必要であるということを示唆しています。

宮内東日本区理事はYMIに対し並外れた情熱を持つ心の温かい方と聞いています。

宮内理事の強いリーダーシップにより日本で新たな変化が起こり、きっと東日本区が成長すると思います。理事および区のリーダーの皆さま全員がより良い世界を作ろうとする努力がいつそう光を放つでしょう。さらなる挑戦と刷新された活動により、東日本区の活動が新しく楽しいものになればと思います。

東日本区の区報1号の内容がどのようなものか知りたいです。区報は担当者が区の皆さまのために熱心に作られるものと思います。皆さまの新たな活動を掲載した区報を頂けることと、区報が全世界に紹介されることを楽しみにしています。

また、この区報がYMIの活動の媒体となりメンバー全員にとって喜ばしいものとなればと思います。貴方の任期の開始と区報1号の発行に際し改めてお祝いを申し上げます。

貴方と東日本区の皆さまのご成功を祈ります。

ワイズリー

国際会長

ムーン・サンボン

Action !

2018-2020 アジア太平洋地域会長 田中 博之（東京多摩みなみ）



東日本区 2018-2019 年度のスタートにあたり、アジア太平洋地域を代表してお祝い、お礼、お願いを申し上げます。

アジア太平洋地域は、東・西日本区の他に台湾、フィリピン、南東アジア、スリランカそしてオーストラリアの、合わせて 8 つの区によって構成されています。メンバー数は約 3,700 名で、その中で、東日本区が約 25%、東西日本区を合わせると、約 65%も占め、日本の皆さまは、まさに、アジア太平洋地域の中核であり、

リーダーとして、お手本としてご活躍いただき、地域内の他の国・区の支援をいただくことを期待しています。

アジア太平洋地域の役割は、地域内の各区、各部、各クラブの活動を支援することではありますが、残念ながら、これまで皆さまの日々のワイズライフに対して、アジア太平洋地域が十分にその役割を果たしてきているとは、言えません。どうぞ皆さまには国際協会、アジア太平洋地域の一員であるという意識を高めていただき、アジア太平洋地域の果たすべき役割の推進のためにお力添えいただくことをお願い申し上げます。私も先頭に立って全力を尽くすことをお約束いたします。

さて、来年 2019 年の 7 月 19 日から 21 日、仙台にて第 28 回アジア太平洋地域大会を開催いただくことに心から感謝申し上げます。

まさに、東日本区の皆さまがアジア太平洋地域のリーダーとしてご活躍、ご奉仕いただく、最高の具体的な表れです。この大会の企画、準備、運営を通じて東日本区がさらに元気になり、ワイズ運動の活性化にもつながることを切に願っています。

私のアジア太平洋地域会長としての主題は「Action!」です。どうぞ皆さまも、様々な課題の中で、現状に満足せず、入会式、役員就任式文にも謳われているワイズメンとして最も大切な「理想」をいつもお持ちいただき、その理想の実現のために、「為せば、成る」と信じてそれぞれが「行動」していただくことをお願いいたします。東日本区のこれからの発展をお祈り申し上げます。

感謝

日本 YMCA 同盟 総主事 神崎 清一（東京西）



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の各部・クラブ・メンバーそしてメネットの皆様には、日頃より全国の都市 YMCA ならびに学生 YMCA の活動をお支えいただきますことに、心より感謝申し上げます。

栗本理事から宮内理事が引き継がれ、これまでの歴史を大切にしつつ、2018 年—2019 年の新たな航海が始まりました。宮内理事の巧みな舵取りと、時宜に応じたご奉仕やお祈りによって、この 1 年のクラブライフがますます豊かなもの

となりますようにお祈り申し上げます。

YMCA では、「日本 YMCA 中期計画 2020」の 2 年目を迎え、全国の YMCA が一致して、「ポジティブネットのある豊かな社会を創ること」を目標とし、「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンとして、更なる人財育成の強化、組織の事業の見直しなどに取り組んでいます。

特に、今日の日本の社会では小さくされた人々が、排除された社会から抜け出すことが大変困難である状況が顕在化しています。このような時代にあって、これらの課題解決に向けての取組が求められ、ワイズメンズの皆さんお一人おひとりの声が社会に発信され届くこと、YMCA の諸活動が社会により認知されインパクトが与えられるようになることが肝要であると考えています。

いつの時代にあっても、私たちは青少年を育みつつ、平和な社会を次代に繋いでいくことが使命であると考えています。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

東日本区の皆様、お一人おひとりに神様が共におられますことに感謝して。

ご挨拶

第22代西日本区理事
遠藤 通寛（大阪泉北）



東日本区のみなさま、第22代西日本区理事遠藤通寛でございます。次期東日本区理事宮内友弥様と一緒にワイズメンズクラブの発展のために誠心誠意働きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

第19代理事の折、夢を語りました。その一つにロースター内のDBC・IBCの空欄を埋めることがありました。あれから3年の月日が流れましたが、その夢は充足しつつあります。皆様に感謝申し上げます。

この度2度目の理事に就任させていただきましたが、前回と同じく、ロールバックマラリア運動をおおいに支援していただきたいことをお願いしております。この運動はかなりの年数を経て成果を上げつつあります。ワイズメンズ国際協会としての、支援終了年度が発表されていますが、是非継続していただきたいものです。

今年、日本でワイズメンズクラブが発足して90年を迎えることとなります。西日本区では、これから先のワイズメンズクラブの発展を目指し、ワイズ将来構想特別委員会が組織され活動しています。発展を目指して東西に分かれて22年の時が過ぎました。22年前とはずいぶん世の中が変化し、考え方も変わってきているように感じます。人口の減少傾向、高齢化、経済の先行き不安等がある中、大変な課題に取り組まなければなりません。

しかし、私はまだ20年のワイズ歴ですが、2度の事業主任、部長、理事を拝命し、各クラブを多数訪問する機会にも恵まれました。素晴らしい活動をされているクラブばかりです。皆様と共にそれぞれのクラブの活動を知っていただき、ワイズメンズワールドの中に一人でも多くの方に入会していただきましょう。

夢の続き・・・会員増強と財務問題を解決するにはエクステンションという薬が効果的。一つの部に一つの新しいクラブが出来ればよいですね。

熱い心と、冷めた頭脳をもって

次期理事 山田 敏明（十勝）



今年度、次期理事として、魅力ある宮内友弥理事を支え、最高の形でバトンを受け継ぎたいと思います。常に「熱い心と、冷めた頭脳をもって」、歴史あるワイズダム推進と会員のより良い交流を心掛け、

東日本区の発展に力を注ぎます。次期キャビネットを中心に、次年度の目標や計画策定に努め、より分かりやすい事業展開を目指します。

また、2019年7月19～21日に開催される第28回アジア太平洋地域大会の実行委員長としての責務を全うする為、プログラムを充実し、また全国を駆け巡り、アピールに努め、また皆さんが何かを感じ、次に進める、そして行動に繋がる大会にしたいと思います。

ワイズの目指すのは、「継続は力なり」です。東日本区的全メンバーとのキャッチボールを通して、より良いワイズライフを楽しみましょう。

『為せば、成る』期待を込めて

直前理事 栗本 治郎（熱海）



昨年の川越での第20回東日本区大会の引継ぎ式で、多くの抱負と期待を込めて『広げよう ワイズの仲間』を主題に掲げて、1クラブ2名の新会員の獲得、20名以上のクラブを目指すこと、また部

にエクステンション委員会を設置し、新クラブ設立の機運を高めるとする等の理事所信表明を致しました。会員減少を打破してワイズを元気にしたいとの思いでした。残念ながら、十分な成果を上げることは出来ませんでした。然しながら、会員増強への思いは、多くの会員の皆様が強くされたことと思います。また、部エクステンション委員会は、全ての部でスタート致しました。2年目3年目には、必ず新クラブが誕生してくるものと期待しております。

宮内理事の掲げる『為せば、成る』を主題とした新年度がスタート致します。宮内キャビネット並びに各事業主任とも実力者が揃っております。私もトロイカの一員として、達成できなかったことを含めて、宮内理事の目標が成し遂げられますように、微力ながらサポート致します。為せば、成る！

書記、頑張ります

書記

板村 哲也（東京武蔵野多摩）



クラブ入会後まもなく、僭越にもワイズという伝統ある組織、巨大な組織を相手に「変化」や「改革」の必要性を叫び、併せ自分達でできることはどんどん変えて行こうと目標を掲げました。これまでにできたことはごく僅かですが、このスタンスと所信は自分の立場やステイタスに関係なく今後も維持して行きます。

任意団体のワイズはトップダウンの指揮命令や強制力で動く組織ではないと理解しています。メンバー全員が主体的、能動的に動かなければならない。これはワイズの存続に関わる根幹的なことと思います。これを肝に銘じて、東日本区運営のお手伝いをさせていただきます。

書記の立場上、皆さまにお願いすることが多々ありますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。書記、頑張ります。

着実に歩むために

会計

長谷川 あや子（東京八王子）



東日本区会計を仰せつかり、緊張感でいっぱいです。微力ですが全力を尽くしますのでどうぞよろしくお願いいたします。ワイズダムの発展のために使うべきところは惜しみなく使いたいものです。そのためにも日頃からクラブ、部、東日本区の会計に関心を寄せて頂きたいと思います。東日本区が着実に歩むために、活動の経済的基盤となります区費の送金など締切日を守って下さいますようお願いいたします。

今年度も各種献金、YVLF 負担金は部会計に送金して下さい。部長と部会計、クラブ会長とクラブ会計は緊密に連絡を取り状況を把握して下さい。なお、今年度から今まで特別会計だったロースター広告掲載代、ユース活動参加費、YVLF 負担金は経常会計に計上されます。ユース活動に一層のご理解とご協力をお願いいたします。

地域のために、Yのために

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

大久保 知宏（宇都宮）



2018-19年度、地域奉仕・YMCA サービス事業主任の大久保です。今年度から事業主任名が変更となりました。従来から地域奉仕事業主任がYMCA サービスも担当して

いましたが、あらためて、名称に明示することになりました。これは宮内理事の基本方針の一つの「キリストの愛の精神と YMCA サービスはワイズの拠り所、アイデンティティー」を強く表すためのものと考えています。私は本事業の推進にあたって、三つの基本方針を掲げました。

1. 現在の事業を棚卸ししましょう
2. 地域の皆さん、YMCA のスタッフとの顔を合わす回数を増やしましょう
3. 活動を記録して幅広く発信しましょう

各クラブとも多くの地域奉仕・YMCA サービス事業を行っています。そうした事業が地域のニーズ、YMCA のニーズに合っているかをクラブで話し合ってみてはどうでしょうか？そうしたことにクラブメンバーではない地域の皆さんを巻き込むことはできないでしょうか？

こうしたクラブ単位の事業をどのように区がサポートできるかを悩んでいます。まずは、各クラブの事業を計画の段階で、区から情報発信することを考えています。ブリテン等で見つけた計画段階の事業を部長、クラブ会長にお尋ねして、タイムリーに皆さんにお伝えできないかと考えています。そうすることでクラブの内外にその事業への協力者が出てくることを目指していきたいと思います。各部長、クラブ会長のご協力をお願いします。また、ブリテンに計画段階の事業の掲載もご検討ください。

一年間、よろしくお願いいたします。

ワイズの情報を発信して EMC

会員増強事業主任
伊丹 一之（東京むかで）



今年度、宮内理事から会員増強事業主任を仰せつかり、EMC について皆様と共に実践していきたいと思っております。

今年度の理事主題は「為せば、成る」。クラブライフが楽しいと、とかく内向きになりがちですが、そのパワーを外に向かって積極的に情報発信し、会員増強に繋げていきましょう。

【事業計画と目標】

1. Extension（クラブ拡張）

前年度、各部に「エクステンション委員会」が設置されました。その委員会が推進役となって新クラブ設立に向けた活動を展開してください。新クラブを3クラブ設立することが目標です。

2. Membership（会員増強）

東日本区ホームページにひな形がある「クラブ紹介パンフレット」を、各クラブが積極的に活用して、自クラブ専用のパンフレットを製作、会員獲得に努めてください。

また、「フェイスブック」などの SNS を活用して、ワイズの活動を外に向かって発信することも進めたいと思います。

各クラブ純増2名以上が目標です。

3. Conservation（維持啓発）

他クラブの例会を訪問するなど、交流の輪を広げながら出席率の向上を図り、新入会者の定着率を上げ、退会者ゼロを目指しましょう。

【表彰基準】（対象期間：2018.5.1～2019.4.30）

1. E部門：①新クラブ設立賞
2. M部門：①最優秀賞（最多会員獲得クラブ）
②優秀賞（最優秀賞に次ぐクラブ）
③努力賞（2名以上の会員獲得クラブ）
④クラブ紹介パンフレット作成賞
3. C部門：①出席率最優秀賞（100%または最高）
②出席率優秀賞（90%以上）
③ノンドロップ賞（退会者ゼロ）
④グッドスタンディング賞（15名以上）
4. 特別賞：EMC 事業に積極的に取り組み、成果を収めた部やクラブ、個人

小さな気づきを積み重ねて

国際・交流事業主任
小原 史奈子（東京たんぼぼ）



主題：「小さな気づきを積み重ね、関心を持って行動へ」

本年度、国際・交流事業を担当する事になりました小原史奈子です。どうぞ宜しくお願い致します。

この事業を通して、ワイズ活動の一端を御理解頂き、クラブ内外の皆さんとのコミュニケーションツールとして活用して頂ければと思います。

国際・交流事業には BF、EF、TOF、IBC、DBC、RBM、YES などがあります。これらアルファベットの「ワイズ用語」は毎月の強調月間で取り上げるテーマで事業理解をお願いします。

・献金目標：自由献金ではありませんが

BF—2,000 円以上 RBM—800 円以上

TOF—1,300 円以上 YES—500 円以上

一人ひとりと月当たり500円を目安に献金積立てをして頂いては如何でしょうか（目標年間6,000円）

※クラブから部会計へ送金 2月15日までに

※部から区会計へ送金 2月末までに

・RBM：7月はRBMの強調月間で

キャンペーンが2020年まで延長になりました。

マラリア撲滅運動へご協力をお願い致します。

今年度は、8月20日の世界モスキート・デーや、4月25日の世界マラリア・デーに他団体と協力しイベント開催を計画中です。

・BF 使用済み切手収集と整理：「無から有を生む」

できれば近年の国内国外の使用済み切手を集め、ご家族やお仲間と一緒に楽しみながら指定のサイズで切手整理をお願い致します。

・IBC/DBC：締結予定のあるクラブは事前に部長、担当主査を通してお知らせください。

2019年仙台で開催するアジア太平洋地域大会参加をご予定頂き、IBC、DBC 交流にご活用ください。

垣根を超えて

ユース事業主任
山本 剛史郎（川越）



2018-2019 年度ユース事業主任を務めます川越クラブの山本剛史郎です。よろしくお願ひいたします。今期のユース事業主任の主題を「垣根を越えて～Beyond barriers～」

としました。それは地域奉仕、国際・交流、会員増強、メネットなどの他事業との垣根を越えてユース事業を見直すことを考えたからです。また、地域・年齢・性別など様々な垣根を越えてユース（若者）支援を行いたい。そのために垣根・障壁となっているものを少しでも崩すきっかけにしたいと思い、このような主題にしました。

さて私は今までユース事業には積極的に関わってこなかったこともあり、正直言ってユース事業に関しては何も分からない状態です。今回、そもそも「ユース」とは何かということから考えたいと思います。ワイズの中で「ユース」という言葉を使うとき、大きく次のように分類されるのではないかと思います。まず、①若いワイズメン（特に 39 歳以下のメンバー）、②ワイズの子ども、孫たち（コメット）、③YMCA ボランティアリーダー、④若い YMCA スタッフ、⑤大学 YMCA（高校 YMCA）、いわゆる学 Y の学生、⑥国際や地域ユースコンボケーション（IYC、AYC）やユースボランティア・リーダーズフォーラム（YVLF）などユース支援事業に参加してくれた学生、社会人、⑦地元の未就学児を含む小学生、中学生、高校生など地域の子どもたちなどです。つまりは YMCA、ワイズメンズクラブに何かしら関わっている若者たちすべてを支援するのがユース事業なのですが、「ユース」という言葉はいろいろな意味で使われています。

次にユース事業は次のようなことを行います。まず、毎年 9 月に行われるユースボランティア・リーダーズフォーラム（YVLF）です。これは YMCA の新米ボランティアリーダーの研修を目的としています。それぞれの YMCA にはリーダーと呼ばれる学生ボランティアがいますが、そのリーダー、特に新米リーダーたちを集めて、YMCA 理解、リーダー同士のつながりを深め、今

後のリーダーとしての働きに役立ててもらうための集まりです。次に 5 月に行われるオープンフォーラム・Y（OFY）です。これは地域の課題、グローバルな課題について、学びたい、行動をおこしたいというユースが出逢い、ともに視野を広げ、プラン作りに挑戦するためのワークショップです。国際感覚・問題意識を持つユースの発掘と育成、YMCA の若手スタッフのトレーニング機会とするもので、今年 2018 年 5 月 19 日、東京都墨田区にある興望館で第 7 回 OFY が開催されました。そして国際ユースコンボケーション（IYC）ですが、これは 2018 年 8 月に韓国・麗水で行われますが、それは現在、着々と準備を進めております。今期、企画・準備をしなければならないのは 2019 年 7 月に仙台で行われるアジア太平洋地域大会、それに伴う地域ユースコンボケーション（AYC）です。これは東日本区で行われることもあり、ぜひとも各クラブは多くのユースを送り出し、多くのユースが参加することを望みます。最後に STEP（Short Term Exchange Program：短期留学制度）の活動です。ワイズに理解のある 15-25 歳のユースが応募できる、3～12 週間の短期交換制度です。異国のワイズ家庭に滞在し、その地のワイズユースと共に種々の体験学習をするものでぜひとも多くの方に応募・参加していただきたいと思います。上記の活動はすべてワイズメンの参加、応援、支援が必要です。特にユースとの交流、その活動実態をみてやろうと意気込みのあるワイズメンの参加を歓迎いたします。ユース事業に物申すというワイズメンの方々、ぜひ一度、これらの活動に参加し、一言、二言、苦言を呈してもらいたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ユースアクティビティ予定表

2018 年 8 月 6～12 日（韓国・麗水）
インターナショナル ユースコンボケーション
2018 年 9 月 7～9 日（山中湖センター）
ユースボランティアリーダーズフォーラム
2018 年 11 月 23～25 日（東山荘）
日本 YMCA 大会
2019 年 5 月（場所未定）
オープンフォーラム・Y（予定）
2019 年 7 月 16～21 日（日本・仙台）
アジア太平洋地域 ユースコンボケーション

その次のワイズへ

北海道部部长
二本松 能敬（北見）



第21回東日本大会に参加し楽しい一時を過ごして、新たに今度は自分たちだと気の引き締まる思いを感じています。

大会の直前、沼津御用邸記念公園を訪れました。見学の最中ずっとオカリナの音楽が流れていました。庭に出てそのオカリナが生演奏であることに気づきました。建物や庭いっぱい音楽が響き、とても心地よい気分になってくれました。演奏していた方は74歳からオカリナを始め、まだ7～8年だと語ってくれました。楽譜を見ながらいろいろな曲を演奏していました。

素晴らしいと思いました。何歳になってもスタートは可能でありやり続ける意思と元気があればどんなことも出来る、そんな風を感じました。

私はチミケップキャンプ場で育ったリーダーOBです。ワイズ活動もその延長にあります。

チミケップやワイズを通してたくさんの人に出会い、感銘を受け、勇気もらい、笑顔をいただてきました。そして今回の大会でもオカリナさんから元気をいただきました。何歳になっても新しい出会いはあるものと再認識しました。

いつでもどこでもその根本は人だと思います。チミケップも御用邸も場所を提供してくれています。でもそこに人がいなければ単に山奥の原始林だったり、古い建物の形だけです。そこに出会いがあるから、喜びが増えるのだと思います。

チミケップキャンプ場は夏の間しか運営していません。9月、10月になると落ち葉に埋もれたキャンプ場になり、そこはひっそりとした静かな、もの寂しい雰囲気のある場所になります。やはり子供達やスタッフがにぎやかに楽しく過ごしている姿があってこそチミケップキャンプなのだと思えます。

本年度は宮内理事のもとにこの喜びや楽しみを少しでも増やし、その次のワイズへ繋げていけるよう心がけていこうと思います。

チャンス到来 われら北東部から世界へ

～ワイズメンズである喜びを分かち合いましょ！～

北東部部长
涌澤 博（仙台青葉城）



次期アジア太平洋地域大会が北東部(仙台)で行われる事を、北東部のチャンスと捉え飛躍していく年になるのではないかと考えております。北東部はクラブ同志の距離が離れており、これまでも交流・

訪問が難しいと議論されて来ましたが、次期アジア太平洋地域大会では北東部の垣根を越えて、東西日本区、アジア太平洋地域、そして世界に目を向けて準備活動をしていく事になります。ここ近年は SNS 等のツールを駆使し容易に連絡が取れあう時代になって来ていますので、お互いに連絡を密に取りながらメンバー一人ひとりが、どのように協力し携われるかを常に考えてワイズ活動を進めていく年になるでしょう。

北東部では個性的なクラブが多く、ブリテンや Facebook などには楽しい催しが報告されています。個性を大切に楽しく喜びのあるクラブ作りを支援して行きたいと思えます。距離が離れていてもできる限り各クラブの例会を訪問し、互いの喜びを分かち合えるような部の運営を目指します。また各クラブとも CS、YMCA サービスを通じ色々な活動を行っておりますが、そのような魅力ある活動がいずれ会員増強に繋がるものと考えております。先日仙台 YMCA 職員研修会にて「ワイズメンズクラブとは」と題してお話しさせていただきました。YMCA のスタッフに対しワイズの活動を少しでも理解していただけるようご配慮いただきました。ワイズの役割は、YMCA への支援を継続的に続けて行く事が大切で、所属 YMCA の維持会員になる事、YMCA プログラムへの積極的な参加と奉仕、YMCA ユースリーダーへの支援そして YMCA に集う若い世代にワイズへの理解を伝えていく事を考えて活動して行きましょ。

今年一年北東部は忙しい年になるかもしれませんが、理事副題の中にある「あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。」その思いを胸に活動を進めて行きましょ。

北東部大会 9月22日(土) 仙台駅前
AER(アエル) <https://www.sendai-aer.com/>

良いものを見つけ、つなげて、よくなる

関東東部部長
衣笠 輝夫（埼玉）



YMCA はブランドスローガンとして「みつかる・つながる・よくなっていく」を掲げスタートし、その具体化へと歩んでいます。

私たちワイズメンズクラブ

は「YMCAを支える」の基本的立ち位置を再認識します。そしてこのブランドスローガンに呼応して主体的に「つながる」を「つなげる」に転換して活動していきます。

ワイズメンズクラブ全体の活動、東日本区活動、各部活動、個々のワイズメンの活動、YMCA との連携の中に素晴らしさを見つけ共有し、それらをつなげます。そして YMCA 共々、生き生きとした活動を目指します。

具体的には、賜物の再発見やクラブ訪問、クラブ間交流を通して各ワイズメンをつなげます。そして日本 YMCA 同盟との協働含めて YMCA とワイズメンをつなげます。又独立しているように見える都市 YMCA リーダーと学生 YMCA ユース、さらに教会ユース、一般ユースをつなげたいと思います。これは9月29日（土）の関東東部部会のプログラムの中でぜひ実現したいと願っています。そして YMCA にユースを送り出してください。我々ワイズメンよりちょっと若いご両親とも様々な機会を創り、繋がることに発展していければと思います。

私たちが生き生きとし、繋がって魅力ある活動の中にあることがワイズメンズクラブ会員増実現に最も必要なことと感じます。

関東東部部大会 9月29日(土) 埼玉北浦和日本バプテスト浦和教会 14:00～



ワイズの楽しみは、今、そしてこれから

東新部部長
神保 伊和雄（東京むかで）



—JOIN US—

クラブの基本・原点に戻って、活動の中身を充実させ、楽しさの再発見を！楽しい活動には仲間が増える。まずは二桁、そして 15 名確

保、20名のクラブへと。

まずクラブの基本。

例会の定例開催。

メンバーのみならず外部の方を招いてクラブの活動を楽しんでいただく！

ブリテンの定期的な発行。

ペーパーでの時代からメールでの発信の今日、経費は従来より軽減できる。

他クラブの活動の紹介・報告 西日本区も

YMCA の活動に参画

プログラムの紹介・参加プログラムのニュース様々な活動・活躍の機会が与えられている。

一人一人に与えられている時間に限りがあります。夫々の取捨選択は皆さんの汗と知恵と努力によって達成できるものと思います。まず一步を踏み出しましょう！あつという間の365日、もうすでに次期のキャビネットが動き出しているかもしれません。残された1年みんなで一緒に歩みを揃えましょう。

国際・交流 : IBC・DBC

EMC : 新クラブ誕生に向かって

ユース : YMCA のリーダーたちを仲間に

主題「未来はそれに備える人のものである」

～飛躍・革新～

あずさ部部長
廣瀬 健（甲府21）



あずさ部 11 クラブの代表として頑張っていきたい。主題で未来に備えるすなわち今からのワイズ活動内容の充実、役割にあると思います。各クラブ内で考え行動することが

発展に繋がり飛躍につながると考えます。イベント、例会には出来る限り参加し各クラブを応援していきたいと思えます。

あずさ部課題である会員増強、私は甲府 21 に所属しております。ここ 2 年～3 年は順調に会員数が増えています。ドキュメント報告。

1. 例会時に活発な意見交換と事業推進の基軸
※みなと会えたら親しみのわく、そして楽しく、有意義だと感じるクラブ活動目指す。
※CS、ファンド活動・ブリテン内容・例会の進行などを含めて具体的な推進案は各委員会・役員会で作成し実施する。
※自己研鎖高揚の為会員並びに外部講師による卓話の実施。

2. クラブ独自の活動事業を明確に実施する
【重点】YMCA の活動内容を十分把握し、YMCA と協議し実現可能な事業を実施する。

『活動事業の具体的な検討項目』

※弱い人（障害者・年少者・高齢者・貧困者など）への支援、具体化していく

※事業活動の予算化及びファンドで活動資金を生み出す。野菜、果物作り

※ベビーカーコンサート実施

当然、皆様のクラブでも上記項目にはいろんな方向、形でトライし実行していると思えます。しかし実際に行動に移すにはかなりのパワー行動力が必要。これをもとに、

あずさ部重点活動

- 各クラブの強化、拡大を計る。
- EMC の活動の活発化。
- 国際交流 IBC・DBC の交流促進。
- YMCA との連携協力を更に強固なものにし、活性化を計る。

イベント、奉仕活動が地域に認知されれば会員の満足度も向上し、会員増強も達成できる。何を活動しているかを外部に発信し知って頂く HP、FB、SNS 有効利用透明化していく。

各クラブと連絡を取り合い成功事例を参考に地域、会員にあった活動を助け成長できるように頑張りたい。そして東日本区全クラブが発展出来るよう微力ながらワイズ活動していきます。

心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！

湘南沖縄部部长
佐藤 節子（厚木）



宮内友弥理事方針「為せば、成る」の精神のもと、時間の許す限り、一生懸命務めさせていただき所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

YMCA 支援に向けて、ワイズ同士が「同じ考えを共有する」にはコミュニケーションづくりが全ての基盤であると思えます。その基盤によって信頼関係が構築されていきます。「為せば、成る」⇒「やればできる」⇒「夢を叶える」も取り組まなければ何事も実現できません。

動機づけは、良好な人間関係づくりが先ず一番。活動そのものの楽しさや居心地の良さは、お互いが認め合える心の元気づくりにつながり、成功体験や目標達成の道へ一歩進むと確信しています。とはいうものの、思うようにいかないのが世の常。しかし、為せば成るです。信じることは、パワーを引き寄せ、幸せ気分になり勇気が出ます。

「おしつけ」ではなく仲間と支え合うことで「主体性」をもち、所属していたいと思う集団の魅力を分かち合いたいものです。

1、活動計画（重点目標）

- ・クラブの活性化・充実を図る
- ・CS/Y サービス 地域貢献と YMCA 支援
- ・会員増強/EMC エクステンション委員会の支援
- ・国際・交流事業の充実。IBC・DBC の促進
- ・ユース活動の支援
- ・YMCA との協働・協力関係支援

2、行事活動

- ・部会 2018 年 9 月 15 日（土）14 時～
- 会場 レンブランドホテル厚木
- 講師 佐治 晴夫理学博士
- 演題「宇宙に学ぶ人生の歩き方」

～宇宙研究最前線から人間存在の意味を考える～
キリスト教、仏教との共通項を数学的見地から読み解くダライ・ラマ法王 14 世との公開対話は有名。
主著書:宇宙が教える人生の方程式、14 歳のための時間論
・評議会 4 回 ・研修会ワイズセミナー開催予定

楽しく元気に活動を！

富士山部部長
渡邊 実帆（沼津）



2018年～2019年度、宮内理事の下、富士山部の部長を務めさせていただきました沼津クラブの渡邊実帆です。宜しくお願い致します。2年間クラブ会長を務めさせていただ

き、本年度は部のお仕事をさせていただき事となりました。ご存知のように富士山部は現在9クラブ、約190名の大所帯です。各クラブとても個性があり、ワイズメン一人ひとりもワイズに対する考え方も違うと思っております。その9つの个性的なクラブを纏めていけるのか、ちょっと不安ではありますが、諸先輩方のご意見を伺いながら「富士山部らしく」元気に活動が出来ればいいと思っております。

主題は『生き活き！ワクワク！仲間と共に』スローガンは『楽しく元気に活動しよう』です。昨年に加藤部長の主題は『生き活き仲良し富士山倶楽部』！それを引き継いだ形で、仲間と楽しく、元気な活動が一番！との思いです。楽しくなければワイズじゃない！楽しく活動しよう！といつも思っております。ボランティア団体ですから、みんな自分の利益の為に働いているわけではないですし、勿論一人ひとり考え方も違います。クラブ内でももめることも多々あります。でもひとりひとりを認め合って、みんなのいい所が引き出せれば、楽しく活動できるのではないのでしょうか。（みんなが自己満足で終わらないようにしなければいけません）

みんな自分のクラブに誇りを持って活動されています。上手くいかないこともあるかもしれない。でも何でもチャレンジ、一人では出来ないこともみんなで集まれば出来るかもしれない。お隣のクラブ、兄弟のクラブ、その仲間達でお互いに刺激し合えるような仲間でありたいと思います。

私のお役目はクラブと区を繋ぐこと。昨年度栗本理事が身近にいらして下さったように、今年度の宮内理事の思いも富士山部の全メンバーに伝わるようにしたいと思っております。

本当に頼りない部長ですが、一年間頑張ってお参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

監事二期目

監事
鈴木 茂（横浜つづき）



東日本区定款第19条の規定に基づき、2期目の監事を仰せつかりました鈴木茂です。1期目は先輩の久保田貞視監事のご指導のもと、何とか監事の重責を全うすることができ

ましたことを感謝いたします。2期目も東日本区の的確かつ健全な発展のために、微力ながら職務に精励したいと思います。

聖書の中に、王位を受けるために旅立つことになった主人が家来たちに金を預け、有効に運用することを命じるイエスのたとえ話があります。王として帰ってきた主人は、商売によって預けた金をさらに増やした家来を褒め、預かった金を地中に埋め、何もしなかった家来を叱責する、という内容です。ワイズにおいても、役員、委員等が決められた最低限のことを形式的に実行するだけでなく、ワイズ運動の一層の進展と適正化のために創意工夫することが求められています。私自身も、そうした思いをもって職務に励みたいと思

見る猿・聞く猿・言わ猿

監事
漆畑 義彦（富士）



本年度より2年間、監事の大任をお引き受けすることとなりました。

行政監査・財政監査が主な役目と心得、東日本区定款の趣旨に添って正しく柔軟に活動できればと願っています。よろしくお願い申し上げます。



2年目の挑戦

文献・組織検討委員会委員長
利根川 恵子（川越）



本委員会は、理事からの諮問に対する答申とともに、各種文献の改訂および監修や、組織に関する討議・提案を行い、東日本区の発展に寄与することが主な役目となっています。

2017-2018年度は、各委員のご尽力により、「東日本区理事キャビネット～活動の手順～」の答申、「東日本区定款施行細則」の改訂、さらに、2018-2019年度用ハンドブック掲載の規則や規定の改定を行うことができました。一方で、「会員増強に関する提言」と「東日本区大会マニュアル」は審議半ばとなり、今期も継続することとなりました。今年度は、これらの継続事項をまとめるとともに、宮内理事の方針に沿って、組織の在り方の再検討を具体的に審議し、昨年度よりもさらに充実した働きができるよう挑戦して参ります。みなさまのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2018～2019年度LT委員会活動について

LT委員長
北村 文雄(厚木)



ワイズマン一人一人が、ワイズの目標「理想と興味を持ち、自らが提案者となり、労をいとわず、前向きになること」を、互いに啓発し合う場所を提供していきたい。会員の意識向上、リーダーシップ開発を通し組織の再構築を図りたい。

委員会開催：7月6日、8月24日、9月28日、11月30日、12月21日、1月25日、2月22日、4月5日、5月17日、於四谷日本YMCA同盟
次期部長・次期事業主任研修会 10月27日
次期会長・部役員研修会 3月9～10日
これからのEMCの展開にSNSのfacebook等の利用促進を図るべくSNS活用推進委員会を立ち上げ、防衛策も含め話を進める。
文献組織検討委員会とも協力し、各種マニュアルの整備検討を年間を通し取り組みたい。
部主体のワイズ活動推進を図るべくLT委員の出前研修を積極的に進める。

東日本区ワイズ基金（JEF）について

東日本区ワイズ基金運営委員会委員長
高田 一彦（千葉）



故村杉克己ワイズ委員長の後を継いで、東日本区ワイズ基金の運営委員長を継承することになりましたが、故村杉ワイズの熱烈なワイズへの思いを引き継いでワイズ基金を盛り上げていきたいと思っております。

運営委員会の目的は、東日本区ワイズ基金の管理・運用・保全ですが、第一には募金活動を推進する必要があります。今年度も50万円を目標額に掲げたいと思っております。

この基金は、ワイズダムに関わる組織や人々の感謝の心を表す機会として、個人やクラブの記念行事等に献金を捧げる形をとってきましたが、機会ある毎に自由献金もお願いしたいと思います。用途先は、ワイズダム発展のための活動に使うために、通常会計では対処できない突発的な、また多額の出資が必要となった場合に活用されています。皆様の熱きワイズへの思いを是非JEFへお捧げください。

あの日から7年

東日本大震災支援対策本部長
宮内 友弥（東京武蔵野多摩）



あの日、私は香港でニュースを知りTV画面に流れる惨状を息を飲んで見ていました。前日IBCのTSTクラブの記念例会に出席し、12日に始まった南東アジア区大会に出席、受付に行くやいなや旧知の

方々から家族は大丈夫か、ワイズの仲間は大丈夫かと声をかけられた。

大会が始まるとお祈りの時は勿論の事、それ以外にも事あるごとに被災地・被災者のために祈ってくださった。最終日には、出席者に募金を募り、その場で8,000HK\$を義援金として託された。

さすがワイズ仲間、日頃からの人を思いやるワイズ精神を強く感じ、熱い思いに勇気を貰って帰って来た。これからも心を合わせ、ワイズらしい支援を継続して行きたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

お願い

東日本区定款改訂委員会委員長
辻 剛（横浜つづき）



2018-19年度のこの区報第1号が発行される頃は、すでに改訂された定款が予定通り発効していると思います。

定款改訂委員会では委員の皆さまのご協力のもとすべての条文に

目を通して見直しをいたしました。大きく改訂したもの、少し変えたもの、原文のまま据え置いたものと様ざまですが、皆さまには何か疑問があるときは定款をひもときこまめに確認をしていただきたくお願いいたします。

もう一つのお願いは、今回は前文を公募し、応募作品を参考にして前文を作成いたしました。国際協会からもお褒めをいただきましたが、ワイズとYMCAの理念をよりよく理解できる表現になっていると思っています。この前文を色々な場面で利用していただければ当委員会としてはこれに勝る喜びはありません。

なお、前年度の年次代議員会（2018年6月2日）にて承認された、「定款の一部修正の件」につきましては、来る8月に宮内理事によって招集される臨時代議員会（郵便投票）にて承認をいただいた上で、国際議会の承認を得る予定です。これをもって国際協会のガイドライン変更に伴う新クラブ設立のための最少必要人数を含む定款の、事務的修正手続きは全て終了することになります。

今後、今回改訂された定款が、ワズダムの発展と東日本区の運営に少しでもお役に立てることを祈念しております

前文

この定款は、ワイズメンズクラブ国際協会の憲法に基づき、東日本区および区内の各クラブの発展を願い、東日本区の組織と運営の基本を定めるものとして制定されました。ワイズメンズクラブの活動の主体は、それぞれのクラブです。区および区内の各クラブは、各クラブがより豊かな活動を進めること、クラブ間の連帯、交流を深めることを支援するために存在しています。

私たちのモットーは、「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」です。このモットーのもと、私たちは、国、世代性別、宗教等の違いを乗り越えて多様性を認め合い、YMCAおよび広く地域社会に貢献します。

世界のそして私たち東日本区の会員は、相互の絆を深め、愛と奉仕を通して、世界の平和と人類の幸福の実現に寄与することができるよう、絶えず努力を続けていきます。

新しい横糸を

東日本区ヒストリアン
仙洞田 安宏（甲府）



ロースター&ハンドブックの「ワイズ用語」によりますと、「ヒストリアン(東日本区)」の項には、「東日本区の歴史的出来事を正確に把握する事。区報・区大会資料・加盟認証状の写し・クラブ記念誌

等、区歴史を綴る文献を保存する」とあります。ヒストリアンをお引き受けして七年が経ちました。最初の年度の区報1号に、「私たちは過去の出来事を知り、そこから学ぶ事が出来ます。時間という縦糸と、ワイズ活動の広がりという横糸が紡ぎ出すワイズダム模様を、ヒストリアンという視座で楽しみたいと思います」と書きました。七年が過ぎ、果たして楽しんでいるかという確信が持てません。今後進むであろう「縮小社会」の中で、ワイズ活動も今までに捕われない新しい横糸の視点が必要ではないかと思えます。

もっと情報発信

ITアドバイザー
大久保 知宏（宇都宮）



2018-19年度、ITアドバイザーの大久保です。

ITアドバイザーの役割は、東日本区ウェブサイトとメンバーングリストの運用です。いずれのツールも「情報」のやり

取りを効率的に行うものですが、作り出せる「情報」は限りがあります。広報・伝達（PR）専任委員、部長、クラブ会長のご協力をいただきながら「情報」を発信しやすい仕組みにしていきたいと考えています。また、次期会長研修会で始まったメンバーによるSNSの活用についても使用方法の提案を行っていきたくと考えています。一年間、よろしくお願ひします。

BF 代表を受け入れ、国際交流の喜びを！

トラベルコーディネーター(TC)
長澤 山泰 (東京)



TC の役目としては、BF 代表の受入日程作成と査証取得を含めた準備が主となります。前年度はカナダ東部・フレデリクトンからロビンソンさんが第 21 回東日本区大会(沼津)に合わせ

て来日され、大会前の浅草(東新部)から始まり、沼津(富士山部)、甲府(あずさ部)、川越(関東東部)、横浜(湘南・沖縄部)の 5 部を 1 週間かけて廻り、熱烈な歓迎をしていただきました。

最近では隔年の BF 代表受入となりつつありますが、具体的な来日日程が決まりましたら、各部長を通じて担当クラブでのアテンドをお願いするようになります。ホストを受けていただく部とクラブにはご負担をお掛けいたしますが、主旨をご理解賜り、実り多い交流の場を設けていただければと思います。その節は、何卒ご協力をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

チーム宮内 発足

東日本区広報・伝達 (PR) 専任委員
渡辺 大輔 (東京武蔵野多摩)



2018-2019 年度、広報・伝達 (PR) 専任委員に任命されました、東京武蔵野多摩の渡辺です。定款改定に伴い、理事事務局長(補佐)の名称がなくなってしまいま

した。

1 年間、内外に向けて情報発信を積極的に行っていきたいです。

いろいろところで名前を目にいただければ幸いです。理事はじめ、他のスタッフのご迷惑にならないよう精一杯頑張らせていただきます。ユースへのご支援、応援も引き続きよろしくお願い致します。

いよいよ、チーム宮内スタートします。

**YMCA とのパートナーシップを求めて
ワイズと YMCA リエゾンの立場から**

スペシャルアドバイザー
山田 公平 (宇都宮)



昨年からは東西のワイズ日本区のリーダーたち 6 人、全国 YMCA のリーダーたち 3 人、リエゾン(両者の関係の取り持ち役) 2 人が集まり、半年に一回両者の関係の在り方、

それに基づく活動目標をじっくりと話合っている。できるだけ多くの YMCA とその関係するワイズ代表が集まり、平等な立場で何が一緒にできるか、それによって両者にプラスとなる取り組みは何か、という話し合いを始めている。

一緒にできることは何か、これを進めることでワイズにとってもはっきりとした目標が見えるようになると思う。YMCA は昨年、ブランディング作業をし、まさに「YMCA に行けば、何かが見つかる、誰かとつながる、そして自分も社会も良くなっていく」と YMCA に行くと感じてほしい。それは一体何か？

これに取り組むことは、同時にワイズも人々に「どんなことをする団体か」をしっかりとアピールできるのでは... と思う。全国各地の YMCA と関係するワイズが、正式な話し合いの場を設けて、この一年何を一緒にできるか、それによって「関心をもってワイズの仲間に入りたくなる」、そんな話し合いの場を全国で興せるようにする。それをこの一年の目標にしたい。



宮内理事と共に

副書記

山口 直樹（東京武蔵野多摩）



新しい定款により設けられた「副書記」をさせていただきます。幻の事務局長こと山口です。今年度から理事事務局が廃止されたことに伴い、理事が必要とした場合に置くことができる新しい職です。

実際には、宮内理事の意向を受け、板村書記のサポートとして区事務所との連携を強化しながら働いてまいります。また、各クラブ、各部と理事キャビネットのパイプ役として動きます。

また、各クラブ・各部が少しでも活動しやすい状態を作ること、会長・部長・クラブや部の役員になられた方が十分力を発揮できるように下支えをしたいと思えます。

この一年、ワイズとＹが素晴らしい働きをできるように頑張ります。

「ワイズメンズクラブと YMCA の協働を

考える一年に」

～パートナーシップの再構築を目指して～

東日本区担当主事

光永 尚生（三島）



今期、宮内理事期から、定款改定により、東日本区担当主事となりました光永でございます。御殿場の YMCA 東山荘で勤務し、富士

山部三島クラブのメンバーとして活動しております。前期より進めていただきました、パートナーシップ検討委員会では、短期目標と中長期目標を設定して今後のパートナーシップのあり方を検討しています。研修や文章などにより随時、皆様には情報共有を進めてまいります。また、この原則は、ロースターの前半部分に日本語と英語にて明記されていますのでご一読ください。新しい一年が、新しい働きとよき交わりの時となりますように祈りながら進められれば幸いです。

東日本区事務所は裏方です

東日本区事務所所長

小山 憲彦（東京サンライズ）



東日本区が円滑に運営されるように、理事および理事スタッフの働きを側面から支えることが東日本区事務所の役割です。会長の皆様には区からさまざまな書類や報告の提出をお願いすることになります。必ず期日を守って、忘れずに提出をお願い致します。また各種献金等部を経由するもの、直接区会計へ送金するもの等、間違わずに処理して下さるよう、お願い致します。

東日本区事務所は、月・水・金曜日の午後のみ開所しています。ご質問、お問い合わせなど、何でも遠慮せずにお尋ねください。すぐに回答できなくても、調べてなるべく早く回答いたします。

黒子に徹して、皆様のご奉仕をサポートしてまいります。ご協力をお願い致します。

黒子に徹して、皆様のご奉仕をサポートしてまいります。ご協力をお願い致します。

YMCA Brand Concept
私たちの使命



あつかる、
つながる、
よくなる。

Vision
YMCAのありたい姿

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」
互いの存在や個性を認め合い、高め合うことである。
尊重や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。
開眼の多い社会の中で、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。
私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かして
ポジティブネットを広げ、価値あるより豊かな社会を創ります。

Value
YMCAのステークホルダーに提供できる価値

したい何かがあつかり、誰かにつながる。
私がよくなる、かけがえない場所。

あつかる
Encounter

つながる
Connect

よくなる
Transform

Personality
ブランドとして表している価値観、そして

心をひらき、わがち合う。
前向きで、まわりを巻きつける
魅力を持つ。

Open & Sharing, Proactive & Attractive.

2018-2019年度 東日本区予算

会員数前期920名後期980名 1CHF120円 1USD115円として

項目	2018-19予算	参 考		算 出 根 拠
		2017-18予算	2016-17決算	
収入の部				876*7500+936*7500+44*4000
東日本区費	13,766,000	13,991,000	13,192,500	会員数前期920名・後期980名(主事44名含む)
ハンドブック&ロースター	1,517,500	1,517,500	1,515,300	1,700円×820冊 + 1,900円×65冊=1,517,500
入会金	480,000	540,000	318,000	入会者 80名×6000円
物品売上	150,000	150,000	234,110	ワイズ読本等
国際加盟金	36,000	40,000	0	100CHF×3クラブ×120円
YMIワールド補助金	106,080	109,250	104,217	884名×1CHF×120円
受取利息	0	0	801	
雑収入	115,000	0	185,847	SDS基金 USD1,000×115円
ロースター広告	600,000			
YVLF負担金	1,200,000			
ユース活動参加費	120,000			
収入の部小計	18,090,580	16,347,750	15,550,775	
前期繰越金	6,223,192	3,028,197	3,922,003	(前期ユース活動費、YVLF余剰金…3,128,720円を加える。)
合 計	24,313,772	19,375,947	19,472,778	

支出の部				
国際会費	3,990,000	3,884,125	3,520,757	920名×17.5CHF×120円+980名×17.5CHF×120円
アジア太平洋地域会費	655,500	665,850	522,132	920名×USD3×115円+980名×USD3×115円
アジア太平洋地域災害緊急支援金	211,600	218,500	214,323	920名×USD2×115円
国際加盟金	36,000	46,000	0	100CHF×3クラブ×120円
ヤングメンバー補助金	70,000	160,000	0	10名×7,000円(39歳以下の会員に区大会の登録費の半額補助)
東日本区大会負担金	460,000	475,000	454,000	500円×920名
東日本区事務所費(人件費)	1,200,000	1,000,000	1,000,000	
(家賃)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
会議費	100,000	100,000	110,925	飲物代・会議室代
旅費・交通費	2,050,000	2,050,000	1,812,200	委員会・役員会、部研修会LT委員旅費等
区・事業費	1,200,000	1,200,000	821,326	メネット活動費、区大会招待費・表彰等
部・事業費	976,000	1,175,000	972,400	部当たり10万×7部+300円×920名
事務通信費	300,000	400,000	424,868	プロバイダー料、電話料、送料
宣伝印刷費	350,000	450,000	460,639	区報印刷費2回分、YMIワールド
コピー機カウンターチャージ	400,000	400,000	321,418	リース料含む
ハンドブック&ロースター	1,479,000	1,462,000	1,494,936	1,500円×890冊 + 1,600円×90冊=1,479,000
消耗品・事務用品費	100,000	100,000	135,275	
EMC物品費	635,000	570,000	203,092	新入会員キット(1名当たり4,000円) 80名、3クラブ分ギヤヘル他(1クラブ105,000円)
慶弔費	50,000	50,000	43,194	生花、弔電、祝電
銀行手数料	30,000	35,000	19,806	送金手数料等
雑費	50,000	100,000	0	
予備費	300,000	100,000	32,000	
ユース活動費	630,000			
YVLF	1,290,000			
活動費補助 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	80,000	理事4万、次期理事2万、直前理事2万
書記/会計	40,000	40,000	40,000	2万×2
事業主任	80,000	80,000	80,000	2万×4
部長	140,000	140,000	140,000	2万×7
委員長/専任委員	80,000	70,000	60,000	1万×8
監事	20,000	20,000	20,000	1万×2
理事スタッフ	20,000	10,000	10,000	1万×2 (副書記、スペシャルアドバイザー)
支出の部小計	18,223,100	16,281,475	14,193,291	
次期繰越金	6,090,672	3,094,472	5,279,487	
合 計	24,313,772	19,375,947	19,472,778	

2018-19東日本区行事予定表

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区等	国際・YMCA
2018	7	キックオフ YMCA サービス ASF RBM	7 第一回役員会 10 各クラブ前期半年報部長提出 15 同上(部長→会員増強主任) 31 前期区費請求書発送		
	8	CS	15 前期区費納期 下旬 臨時代議員会(郵送)	25 北海道部部大会	6-12 IYC(韓国) 9-12 国際大会(韓国) 8 アジア太平洋地域議会(韓国) 10 国際半年報
	9	ユース	7-9 ユースボランティア・リーダーズ フォーラム	15 湘南・沖縄部部大会 22 北東部部大会 29 関東東部部大会 30 富士山部部大会	国際議員推薦 国際会長候補者推薦
	10	EMC/E YES	27 次期部長・事業主任研修会	13 東新部部大会 20 あずさ部部大会	
	11	ワイズ理解 ファミリー ファースト	10 第二回役員会 10 ワイズデー		23-25 日本YMCA大会
	12	EMC/M	8 祈りの鐘		7-9 アジア太平洋地域、韓国地域合 同RDETレーニング 9-10 アジア太平洋地域年央会議 国際役員投票
2019	1	IBC/DBC	10 各クラブ後期半年報部長提出(ク ラブ会長→部長) 15 同上(部長→会員増強主任) 31 後期区費請求書発送 31 次期部役員・クラブ会長報告(次 期部長→区)		31 国際役員投票スイス必着
	2	TOF	15 後期区費納期 15 各種献金納期(クラブ→部) 28 各種献金納期(部→区)		10 国際半年報
	3	BF メネット	9-10 次期クラブ会長・部役員研修会 8 代議員会告示		
	4	LT	5 代議員会議案締切 6-7 第三回役員会(現・次期合同)	20 東西理事連絡会議	
	5	EF/JEF	1 代議員会議案送付 15 JEFエントリー締め切り 31 第四回役員会(東京)		
	6	評価	1 代議員会(東京) 1-2 第22回東日本区大会(東京)	22-23 西日本区大会(京都)	15-16 日本YMCA同盟協議会
	7		上旬 次年度役員会		17-21 AYC(仙台) 19-21 アジア太平洋地域大会(仙台)
	8		下旬 臨時代議員会(郵送)		

2018-2019 東日本区役員および委員長等一覧

		役職名	氏名	クラブ名
東日本区 役員	常任役員	理事	宮内 友 弥	東京武蔵野多摩
		次期理事	山 田 敏 明	十勝
		直前理事	栗 本 治 郎	熱海
		書記	板 村 哲 也	東京武蔵野多摩
		会計	長谷川 あや子	東京八王子
	事業主任	地域奉仕・YMCA サービス事業主任	大久保 知 宏	宇都宮
		会員増強事業主任	伊 丹 一 之	東京むかで
		国際・交流事業主任	小 原 史奈子	東京たんぽぽ
		ユース事業主任	山 本 剛史郎	川越
	部長	北海道部部长	二本松 能 敬	北見
		北東部部长	涌 澤 博	仙台青葉城
		関東東部部长	衣 笠 輝 夫	埼玉
		東新部部长	神 保 伊和雄	東京むかで
あずさ部部长		廣 瀬 健	甲府21	
湘南・沖縄部部长		佐 藤 節 子	厚木	
富士山部部长		渡 邊 実 帆	沼津	
監事	監事	鈴 木 茂	横浜つづき	
	監事	漆 畑 義 彦	富士	
委員長	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	利根川 恵 子	川越
		IT委員会委員長	北 村 文 雄	厚木
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	高 田 一 彦	千葉
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	宮 内 友 弥	東京武蔵野多摩
	事業委員会	地域奉仕・YMCA サービス事業委員会委員長	大久保 知 宏	宇都宮
		EMC事業委員会委員長	伊 丹 一 之	東京むかで
		国際・交流事業委員会委員長	小 原 史奈子	東京たんぽぽ
		ユース事業委員会委員長	山 本 剛史郎	川越
		メネット委員会委員長	井 上 優 子	もりおか
	特別委員会	東日本大震災支援対策本部本部長	宮 内 友 弥	東京武蔵野多摩
		東日本区定款改訂委員会	辻 剛	横浜つづき
		東日本区事務所人事委員会委員長	山 田 敏 明	十勝
専任委員等	ヒストリアン	仙洞田 安 宏	甲府	
	ITアドバイザー	大久保 知 宏	宇都宮	
	トラベルコーディネーター	長 澤 山 泰	東京	
	広報・伝達（PR）専任委員	渡 辺 大 輔	東京武蔵野多摩	
理事スタッフ	スペシャルアドバイザー	山 田 公 平	宇都宮	
	副書記	山 口 直 樹	東京武蔵野多摩	
東日本区担当主事	担当主事	光 永 尚 生	三島	
東日本区事務所	東日本区事務所長	小 山 憲 彦	東京サンライズ	

2018-19会長一覧

	クラブ名	会長名
北海道部	札幌	柴田伸俊
	北見	山田剛
	十勝	赤松明彦
	札幌北	佐藤國彦
北東部	仙台	中川典幸
	前橋	岸龍也
	宇都宮	山田公平
	仙台青葉城	南澤一右
	足利	諏訪治邦
	会津	青山孝男
	宇都宮東	鈴木伊知郎
	那須	河野順子
	もりおか	三田庸平
	仙台広瀬川	加藤研
石巻広域	木村純	
関東東部	東京江東	宇田川敬司
	千葉	徳永浩一
	東京グリーン	佐野守
	埼玉	上松寛茂
	東京北	磯部成文
	所沢	澁谷弘祐
	東京ひがし	金丸満雄
	川越	森下千恵子
	茨城	土谷明男
	東京ベイサイド	小林正輝
東新部	東京	長澤弘
	東京むかで	城井廣邦
	東京世田谷	朝倉正昭
	東京町田コスモス	松香光夫
	東京センテニアル	徐鐘煥
	東京多摩みなみ	深尾香子

	クラブ名	会長名
あずさ部	甲府	P・マウントフォード
	東京山手	浅羽俊一郎
	東京西	本川悦子
	東京武蔵野多摩	山口直樹
	松本	赤澤睦子
	東京サンライズ	大谷博愛
	甲府21	野々垣健五
	東京八王子	久保田貞視
	東京たんぽぽ	越智京子
	富士五湖	後藤明久
湘南・沖縄部	長野	森本俊子
	横浜	古田和彦
	沖縄那覇	玉城哲人
	鎌倉	千葉裕子
	横浜とつか	浦出昭吉
	厚木	小松仲史
	金沢八景	若林諒
	横浜つづき	岡田勝美
	沖縄	宮里伸一郎
	富士山部	熱海
沼津		泉文雄
伊東		山田光彦
三島		藤田小夜子
下田		臼井啓太郎
熱海グローリー		勝又隆吉
御殿場		若林久美子
富士		増田隆
富士宮	山本昭宏	

Action!
前へ進もう



仙台2019
SENDAI JAPAN
28th Asia Pacific Area Convention



ワイズメンズクラブ国際協会

第28回 アジア太平洋地域大会

2019年7月19日(金)～21日(日)

会場：仙台国際センター ワイズメンズクラブ国際協会東日本区・西日本区



Notes & News

国際会長	「私たちは変えられる」	“Yes, We Can Change!”
アジア太平洋地域会長	「アクション！」	“Action!”
東日本区理事	「為せば、成る」	“No challenge, No fruit.”

2018. 7. 1 発行 第1号通巻 60号

絆を深め 共に前へ 感謝を忘れず

メネット委員会委員長 井上 優子（もりおか）



敬愛する大村前委員長の「絆を深め多様な力でときめくメネット！」の志を受け継ぎ出発します。

もりおかクラブメネットとして、区大会メネットアワー、メネットのつどいにはほとんど参加をしており、与えられた機会を享受する一方通行状態で、メネットの方々の多様な力には驚嘆するばかりでした。毎回参加の機会を与えられたことに感謝をするほかありません。また、今思うと必ずメン（ウイメン、子息、パートナー）が協力をしている姿が印象的でした。

これはクラブの縮図と捉えることも可能なのでは？と思います。各クラブではメンが主体となり例会、行事が進められますが、メン同士が協力して実行にこぎつけることができるのは健康を気遣い、家庭から快く送り出してくれるメネットの協力があることを忘れてはならないと思います。メンを亡くされたメネットがウイメンとして在籍するのも生前のワイズ活動への協働体制があったからでしょう。

「ワイズメンズクラブは他の組織と違い夫婦揃って入会するのが常なのです。」と大先輩に諭され、首を傾げながらメネット登録したことを懐かしく思い出しています。夫は仕事、主婦は家にいて子育て、の時代でしたので、しゅしゅの態でしたが、結婚に続く長期在籍期間を記録。

時代は変わり、環境も大きく変化をしているとも、ワイズの精神、は変わっておりません。

環境の変化に対応しつつ、ウイメン、メンと共にメネットとしての役割を果たすことが求められていると思います。多くの先輩のお顔を思い浮かべながら、「楽しんでますよ！」（エレガントさは到底無理ですが）と応えられる様、微力ながら務めさせていただきます。



つなごう
平和への
道しるべ



ワイズメンズクラブ国際協会

第22回東日本区大会

日時：2019年6月1日(土)～6月2日(日)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

ホストクラブ：東京サンライズクラブ

協力クラブ：あずさ部各クラブ